

香川ニュース

第48号

編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

相模線連絡協議会がスタート

香川に住む私たちに、相模線は、まさに暮しの足。このサービス向上は、みんなの願いですが、去る九月、沿線の関係団体を中心に、相模線連絡協議会が結成され、強く国鉄当局に改善方を要望することになりました。



サービス向上を要望へ

単線軌道をジゼルカーがのんびり走る、県内唯一のローカル線。この相模線の沿線もここ十数年の間に、住宅の増加、高校の新設などの開発がすすみ、利用者も急速に増えていきました。ところが、国鉄側の対応はこれにともなわず、無人駅、老朽駅舎、不便なダイヤ、ラッシュ時の混雑、旧型車両など、利用者にとっていろいろな問題が数多く残されています。

このたび結成された相模線連絡協議会（会長斉藤香川自治会長）は、これらの問題の解決を関係当局に要請するための組織で、香川、鶴が台、円蔵と寒川町岡田の各自治会、茅ヶ崎と寒川の高校増設協議会、その他、国労、全日自労、新婦人の会など幅広い参加団体によって構成されています。

自治会館の使用料や集会室の使用料は、利用団体の性格によって免除すべきではないかという意見に、自治会館運営委員会が検討をつけてきました。このたび自治会館に対しつぎのような答申が出されました。なお、これは自治会役員会の討議を経て、十月二十二日評議員会の承認を得て、実施されることになりました。

使用料の免除団体

自治会館運営委で結論

自治会館の使用料の免除は、自治会館の運営に支障をきたさない限り、自治会館の性格によって免除すべきではないかという意見に、自治会館運営委員会が検討をつけてきました。このたび自治会館に対しつぎのような答申が出されました。なお、これは自治会役員会の討議を経て、十月二十二日評議員会の承認を得て、実施されることになりました。

地域づくり市民集会

環境・教育をテーマに

主婦が中心に、三百名参加

市民集会は、自分の住んでいる地域を、ここがふるさとだと思えるような、愛着のもてる町にしようと、市内の自治会や各種団体等で構成されている、地域づくり市民会議が主催したものです。

市内数カ所で開かれましたが、鶴が台地区の場合は、香川、鶴が台、松風台、甘沼の四地区を対象にしたもので、市民約三百名が参加、市側からも市長はじめ幹部職員が出席、斉藤香川自治会長が総司会。

粗大ゴミ、資源ゴミ（ビン、新聞、雑誌）等は回収業者と連携をとって金にしたらどうか。アルミ缶は焼却炉で燃焼を止める作用があるので、生ゴミのなかには絶対に混入しないようにしよう。

このほか、空地の雑草、中学校の新設、市立図書館の設置など、多くの問題が提出されましたが、これらについて市長からつぎのような説明がありました。まず、外灯費用の補助をあえて九〇％に抑え、一〇％を自治会の負担としておくのは、市民による自主管理、自治意識の高揚を期待しているもので、何も金が惜しいわけではないと、市民自からによる地域づくりの重要性を強調したあと、

自治会日誌



- 8月
 - 1日 香川ニュース発行・防火訓練
 - 5日 第四町内会組長会
 - 6日 駅前清掃と町内清掃
 - 8日 青少年育成協議会、5/8日 自治会費第二期分集金
 - 10日 防犯灯設置開始
 - 12日 第二期分集金
 - 13日 第二期分集金
 - 14日 青少年育成協議会
 - 15日 相模線連絡協議会（寒川町長・町議会議長へ、茅ヶ崎市長・市議会議長へ趣意書を提出）
 - 16日 第二期分集金
 - 17日 第二期分集金
 - 18日 香川あゆみ編集委員会
 - 20日 相模線連絡協議会
 - 21日 相模線連絡協議会
 - 22日 盆おどり反省会
 - 31日 香川中
- 9月
 - 2日 地域づくり市民集会
 - 3日 防火訓練・第四町内会組長会
 - 4日 香川のあゆみ編集委員会
 - 7日 第三町内会役員会
 - 9日 中学校設立委員会
 - 10日 第二町内会組長会
 - 11日 年金説明会
 - 17日 消防委員会・環境整備委員会
 - 23日 10回香川地区体育大会
 - 24日 役員会
 - 25日 床下消毒
 - 26日 中学校設立委員会
 - 27日 共同募金打合せ会
 - 28日 浜降祭反省会
 - 30日 松林地自治会長
- 10月
 - 1日 共同募金はじまる・防火訓練・香川小学校運動会
 - 2日 第四町内会組長・評議員会
 - 3日 自治会館運営委員会
 - 5日 文化厚生委員会
 - 7日 第四町内会組長会
 - 8日 役員会
 - 11日 上半期会計監査
 - 14日 役員会
 - 22日 評議員会

第四町内会長が十月に交替へ

昨年度の広報委員長、今年度の第四町内会長として活躍していた熊沢晶さんが、このたび都合により辞任され、その後任として、同町内総務の渡辺昌信さんが新会長に就かれました。

240
29
60分
38



秋空の下、盛況に体育大会

香川地区の体育大会が九月十七日、香川小学校グラウンドで約千人の参加をえて、にぎやかに行なわれました。

二、三日前から降りつづいた雨もすっきり晴れ上がり、絶好の運動会日より。香川スポーツ少年団、バトンガールなど、元気な子どもたちをはじめ、香川の四つの町内会、甘沼、松風台の六チームが参加、秋空の下で、熱戦がくりひろげられました。

好天とあつて応援も多く、一日歓声が湧いていました。

成績は、松風台が優勝、第二町内会が二位、以下第四町内会、甘沼、第三町内会、第一町内会の順でした。

なお、この体育大会も、今年で十回目をむかえ、これを記念して、功労のあつた方々が表彰されました。

サークル活動紹介(1)

俳句、女性史と多彩

九月には秋田県人会

香川を明るく、住みよくなるには、住民同志の文化や親睦の活動も大切なものです。今月は、こうした人となりを、いろいろなグループ活動の様子をご紹介します。

なお、次号でも、このつづきを予定しています。

茅花俳句会

俳句には古い良いお手本がたくさんあることは、すでに皆様よくご存知のところですが、それらのまねを今更やつたところ、喜びは起きますまい。創作こそ常に俳句の本道と思われま。対象に對面して得た、その人だけの感動を十七文字にする作業は簡単なことではありませんが、たつた十七文字ではあつても、それぞれの感動を他に伝えるのに充分であることは、過去のすぐれた作品がそれを実証しています。自分の感動が、作品を通して人に伝わる喜びをあ

なたも体験してみませんか？

現在、自治会館で月に一回(第四日曜)、なお各会員宅の持ち廻りで月に一回、それぞれ句会を開いています。俳句をすてにやつている人、これから始めようとする人等々、どしどしご参加下さい。詳細については左記へどうぞ。

柳田ふじ子
長島久江
(85)(82)六九三二
〇六七六

グループづくし

昨年春に、香川小PTAの読書サークルが母体となつて生まれた母親たちの集まりで、市から助成金を受けている市民学習グループの一つです。

子どもの教育だけでなく、自分自身の生き方を考え、行動し

「香川あゆみ」発刊へ

皆さんの予約をお願いします

香川の歴史を文化や人々の暮らし、宗教、交通など、幅広い視野からまとめた「香川あゆみ」が近く完成します。

この企画は、四年前にたてられて、編集委員(委員長 国末節さん)の方々の、なみなみならぬご苦労があつたことは云うまでもありません。

香川の昔を知っている古老の皆さんへの取材、県市立図書館などの資料調査、香川のルーツを求めて関西、岡山、山口への

探求取材。さらに編集方針、内容構成、執筆分担と、勤務や仕事の合間の編集作業は大変だつたと思います。

昨年来の「ルーツ」の流行、アンティークブームなど、いま歴史をふり返り、古いものを知ろうという風潮はつよく、「香川あゆみ」の発刊はまさにタイムリーと云えましょう。

市、町の郷土史は、各地にあります。香川のような一村落を対象としたものは珍しいも

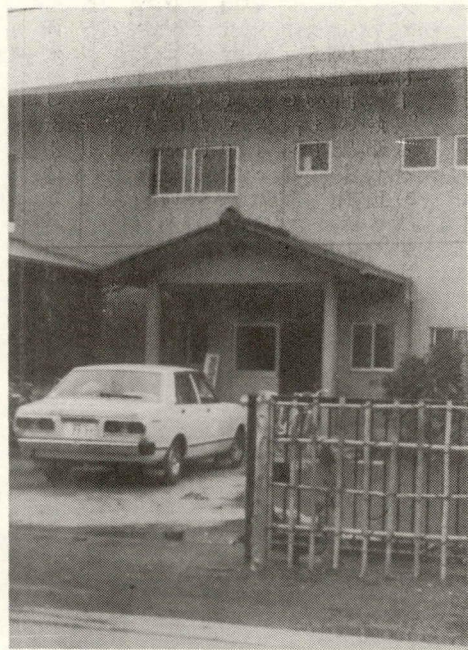
が集まりました。

第一回目は、去る九月二日夜、自治会館に集まつたのは一二人、すでに顔見知りの方もいました。はじめは気どつて神奈川弁で自己紹介などしていましたが、アルコールが廻るにつれて、おおく言葉が出て来ました。もつとも、はじめからなまづつている人もいました。

民謡あり、踊りありの、なかやかで楽しいひとときを過ごし、散会後もうれしさのあまり、二次会へと繰り出した人もいたとか。

今後も月一回位集まりますので、秋田出身の方、そくそくおいで下さい。

連絡は田口(51)七六三九まで。



サークル活動の場...自治会館

秋田県人会

くこの言葉でしゃべつてみるべと、香川在住の秋田県出身者が集まりました。

第一回目は、去る九月二日夜、自治会館に集まつたのは一二人、すでに顔見知りの方もいました。はじめは気どつて神奈川弁で自己紹介などしていましたが、アルコールが廻るにつれて、おおく言葉が出て来ました。もつとも、はじめからなまづつている人もいました。

民謡あり、踊りありの、なかやかで楽しいひとときを過ごし、散会後もうれしさのあまり、二次会へと繰り出した人もいたとか。

今後も月一回位集まりますので、秋田出身の方、そくそくおいで下さい。

連絡は田口(51)七六三九まで。

規格はA5判(一四・五センチ×二一センチ)、二四七頁、上質紙、写真を多く掲載。

目次は①香川の沿革史(上代、中世、近世) ②住民自治の流れ ③教育と文化 ④道路と交通 ⑤人々の暮らし ⑥神社と寺 ⑦伝説 ⑧香川史年表

価格は千円程度。購入申込については、売残り負担の危険を避けるため、予約注文を原則とし、いま、町内会を通じて予約をとつていただきますので、ご協力ください。ご存知のように、印刷部数が増えれば、一冊の単価は安くなります。多くの方の予約をお願いします。

香川倶楽部が発足 楽しいサロンを

みんなが、定期的な日をきめて、お互いの体験談やよま話でも、自由に話し合えるサロンでもつくりたい、このたび、香川倶楽部(仮称)が発足し、十月八日、第一回の例会を自治会館で開きました。

会の名称の文字でもおわかりのように、相当古風で、経験ゆたかな皆さんが多く、当日出席の方々は、佐々木直人、高木正春、間庭建爾、吉川実治、大内武夫、齊藤兵治、熊沢晶、曾根秀次、鈴木 晟の諸氏、みんなが、気がねなくよま話話し合えることは、大切なことです。この倶楽部が、より多くの人により、ますます充実したサロンになることを、心から期待します。

参加ご希望の方は、電話(52)四五六九 曾根秀次氏方までご連絡ください。

編集後記

香川ニュースの役割は、自治会活動の紹介と同時に、香川の地域活動をお知らせすることも重要なことだと思ひます。

この号では、会館の運営や、「あゆみ」の発刊のほか、サークル活動の一部を取材してみました。

市民同志の、文化や教養、親睦などを目的とするサークル活動は、うるおいのある生活や地域社会をつくるために大切なこと。秋から冬へ、インドアードのシーズンです。香川倶楽部も動きに参加されてはいかがですか。なお、サークル紹介の原稿を、広報委員までお寄せください。

- 第一 柏倉 紘 〇三七三
- 第三 川村道子 〇二八八
- 第三 関野栄治 〇二五八一
- 第四 多田みゆき 〇七二二〇

